

第88期 株主報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



西部電機株式会社

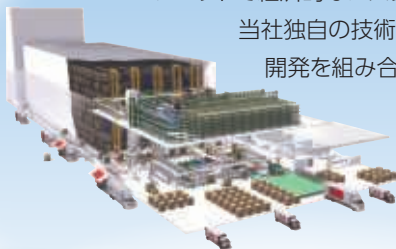
証券コード 6144

西部電機は技術と品質で、 そして独自の創造力で広く世界に貢献いたします。

当社は「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に、
物流マテハンシステム、産業機械、放電加工機、工作機械等、多彩な技術で
明日を拓くメカトロニクスメーカーです。

搬送機械事業

コンパクトで経済的なシステムを構築できる
当社独自の技術力と、ソフトウェア
開発を組み合わせた「総物流
ソリューション」を
提案しています。



Seibu

産業機械事業

水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエータとゲート駆動装置を提供しています。



精密機械事業

ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、
小物精密部品加工に応えるNC旋盤、自由形状
加工を可能とした切削・研削加工機などを開発
しています。



中期経営計画「チャレンジ280」がスタート 新たな変革にスピードを意識し、果敢に挑戦してまいります。



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループの第88期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2021年6月

取締役社長 税所章一

Q 当期の業績について教えてください。

A 受注高が堅調に推移し、
売上高、経常利益とも過去2番目の記録となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により依然として先行き不透明感が続いていることから、製造業をはじめとして国内設備投資が抑制された状況が続いております。一方、中国の経済活動が他国よりも早期に再開したことから、一部では需要の回復傾向も見受けられました。

このような情勢の中で、当社グループは、感染防止対策としまして時差出勤やテレワーク、出張制限等を取り入れながら、お取引先様や従業員および家族をはじめとする、すべてのステークホルダーの皆様のご安全・健康を第一に考え、活動しております。また、今年度は中期経営計画「チャレンジ240」の最終年度として、どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、受注高は主に精密機械事業が

増加して、244億6千6百万円(前期比12.4%増)となりました。売上高は、搬送機械事業は減少したものの、主に精密機械事業が増加して246億4千8百万円(前期比3.8%増)となり、過去最高を記録した2018年度の292億9千9百万円に続く過去2番目の記録となりました。損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力いたしました結果、経常利益は過去2番目の記録となる23億9千7百万円(前期比8.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億3千2百万円(前期比18.2%増)となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがでしょうか。

A 「チャレンジ280」がスタートし、
市場環境の変化に対応して市場競争を勝ち抜いてまいります。

次期のわが国経済は、各国で新型コロナウイルス感染症が再拡大し、世界経済に大きく影響を与えている中、テレワークやデジタルビジネスが拡大し、それに伴い半導体需要が増加しております。また一部では個人消費の持ち直しや輸出の増加もありますが、諸外国の通商問題、政治・経済の不安要素は多く、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループといたしましては、2021年度から2023年度までの3カ年における新たな中期経営計画「チャレンジ280」をスタートいたしました。どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高243億6千万円、経常利益22億3千万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億1千万円を計画しております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 期末配当金は、1株当たり5円50銭増配とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期的展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当期の期末配当につきましては1株につき14円を予定しておりましたが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、より一層の株主還元を図るため、1株につき5円50銭増配し、19円50銭とさせていただきますと存じます。この結果、中間配当金を含めました当期の配当金は1株につき33円50銭となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

搬送機械事業 国内最大手ポンプメーカー様へ大型FMS納入

近年、国内機械製造業においては、労働力不足、働き方改革を背景に、省人化、無人化の製造ライン構築が求められています。この度、搬送機械事業では、国内最大手のポンプメーカー様より、半導体製造現場で欠かせないドライ真空ポンプの需要増への対応として、最新鋭の自動化工場を新設すると相談を受けました。それに対し、2年半に亘って技術・運用面の検討を行い、1年間の工事期間を経て、大型のFMS (Flexible Manufacturing System) を納入いたしました。

今回、納入したシステムは、当社独自の自動倉庫システムと機械加工を行うマシニングセンター28台、洗浄ラインなどの設備連携と、IoTを活用した生産・稼働状況のリアルタイム管理で、需要変動に合わせ効率的な製造工程、多機種混流生産を可能とした自動化システムを実現しました。

今後も、ユーザーの要求と期待に応えられるように、工場、物流における様々なシーンで、省人化、無人化に取り組んでまいります。



搬送機械事業 カゴ車デパレ装置を開発 国際物流総合展2021に出展



従来の展示会は実機展示でしたが、今回はコロナ禍という事もあり、オンラインで配信するバーチャル物流展に初出展いたしました。昨年の展示会では、パレ/デパレ装置の単体機を出展いたしましたが、今回はさらに踏み込み、センター内における入荷から出荷に至る一連の物流フローを具現化し、カゴ車に積まれた混載ケースを自動でデパレタイズする、新たな開発機「カゴ車デパレ装置」と、多種のケースを6輪カートへ自動で積み付ける「カートケースローダー」を組み合わせて出展しました。この展示機は、一般的なロボットと比べて「50%省スペース」「低コスト」「安全性」を実現した点が最大の特徴であり、市場競争力の高いシステムとなっております。

今後も市場の期待に応えられるよう、製販一体となって自動化商品づくりに取り組んでまいります。

産業機械事業 電力市場向けバルブアクチュエータ診断装置「SDD」の開発

産業機械事業における主軸の1つである電力メンテナンス市場では、環境保護意識から化石燃料燃焼によるCO₂を排出する発電方式が縮小されていることから、それに伴うメンテナンス経費も削減されています。また、メンテナンス方式についても、従来の稼働時間管理による年次点検TBM (Time Based Maintenance) から、機器の状態を簡易診断し最適メンテナンスを行うCBM (Condition Based Maintenance) への移行が進んでおり、この市場変化に対応する為、西部バルブアクチュエータ診断装置「SDD」(Seibu Diagnosis Device)を開発致しました。

「SDD」は、現場で機器の分解を必要とせず短時間で状態診断(運転電流・開閉時間・運転トルク・システムブッシュ摩耗・FFT解析etc)を可能とした、当社が長年培ったメンテナンス経験(特開2004-257419)と最新のDX技術を融合させた装置です。富津火力発電所3-2軸にて4日間で64台の実診断を行い、診断成績も良好でお客様より高い評価を頂きました。

今後の電力メンテナンス市場を技術力で先導し事業に貢献致します。



産業機械事業 民需／海外 拡販機種「Semflex-VMM-Z」開発



産業機械事業部の主力製品である電動バルブアクチュエータを取り巻く市場環境は、上下水市場の縮小等徐々に変化しています。又、電動バルブアクチュエータの世界標準規格「EN15714-2」の制定により、近い将来JISへの書き換え計画も考えられ海外製品の市場参入も予想されます。

この市場の変革、イノベーションに対応するためSemflexシリーズの開発販売を行い、製鉄所・艦船・ガス・化学・海外市場で成果を上げてまいりましたが、更なる市場拡販を図る為、汎用機種「Semflex-VMM-Z（インテグラル）タイプ」の開発及びラインナップ（Type-01/04/07/1）を完了しました。Semflexシリーズのラインナップ強化や海外規格への対応により新市場を開拓し、更なる拡販、事業発展に貢献致します。

精密機械事業 高精密自由形状内面研削盤「SFG-28」のモデルチェンジ

高精密自由形状内面研削盤SFGシリーズでは「SFG-28」のモデルチェンジを行いインターモールド2021東京へ出展しました。

SFGシリーズとして、「SFG-35」とのデザイン統一を行い、好評だった2面開口カバと、マルチタッチ対応の21.5インチディスプレイを搭載したSmartNCを採用し、大幅に操作性と機能が向上しました。SmartNCにおいては、対話式プログラム作成機能や測定プログラム機能に加えて、新たにDXFデータからプログラムを自動的に作成する機能（特許申請中）を搭載しました。

今後は需要が増加しているレンズ金型業界や、自動車部品など小物精密金型業界を中心に、拡販に取り組んでまいります。



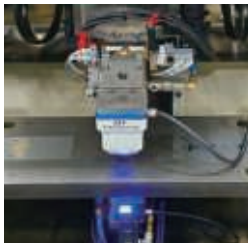
SFG-28UP_PANELi（本体+付属装置）

精密機械事業 ワイヤ放電加工機 画像測定機能「SSV」の開発

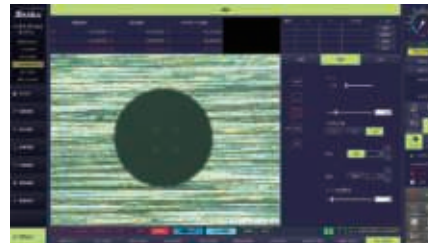
精密機械事業では、新たにワイヤ放電加工機用の画像測定機能「SSV」（Seibu Scope Vision）を開発しました。

「SSV」は、加工機の上ヘッドにカメラ、下ヘッドに照明を取り付けて加工後のワークを機上で測定することができる画像測定機能で、この機能を使用することにより、加工終了後にワークを取り外すことなく、加工機上で評価を行うことができます。さらに加工形状のCADデータとカメラで取り込んだ画像を照合し、差分計測も行うことができるため、容易に追加加工が可能となります。測定能力としては、形状精度、ピッチ精度のいずれも、誤差±1μm以内を達成しています。

今後も、事業部一体となって顧客ニーズに即した製品開発に取り組んでまいります。



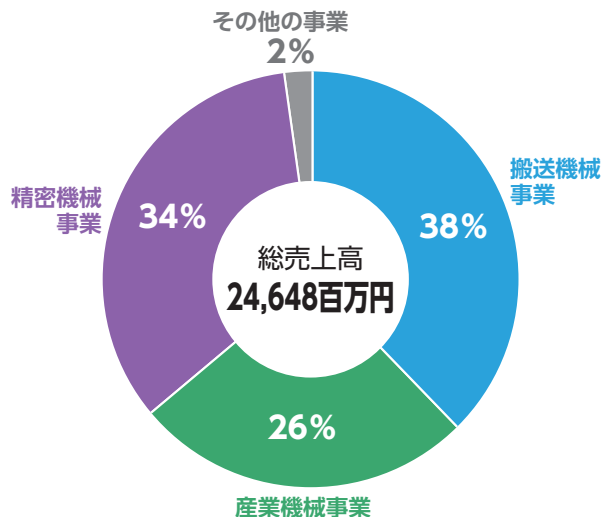
SSV機能の外観



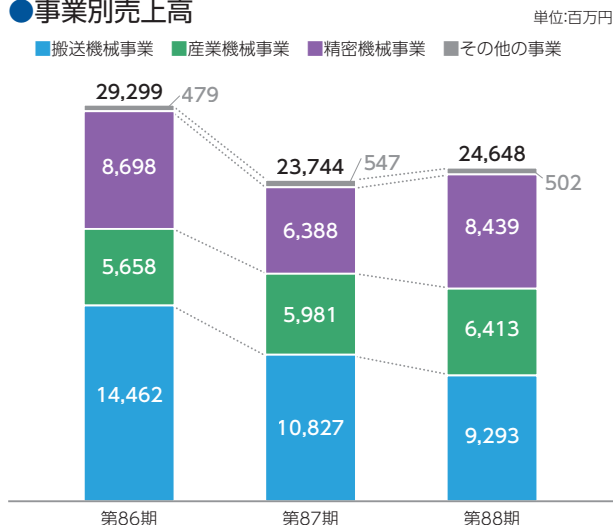
測定画面

主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **9,293**百万円

(前期比 14.2%減)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は大口物件が減少したものの自動化物流センターの成約などがあり90億7千万円(前期比7.3%増)、売上高は大口物件が減少したことなどから92億9千3百万円(前期比14.2%減)となりました。

主要製品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

ロボティクス・マテハン(カートケースローダー)



FAシステム (DIOシステム)



ロボティクス・マテハン(ファインピッカー)



産業機械事業

売上高 **6,413**百万円

(前期比 7.2%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野のほか、上下水道向け、サービス・メンテナンスが順調に推移し、受注高は62億7千5百万円(前期比3.2%増)、売上高は64億1千3百万円(前期比7.2%増)となりました。

主要製品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型チェーン式)



精密機械事業

売上高 **8,439**百万円

(前期比 32.1%増)

精密機械事業では、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国内設備投資の抑制が続いているものの、主に放電加工機の中国向けの輸出が好調に推移し、受注高は86億2千3百万円(前期比29.0%増)、売上高は84億3千9百万円(前期比32.1%増)となりました。

主要製品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 高精度小形NC旋盤
- 高精度自由形状内面研削盤
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精度自由形状内面研削盤(SFG-35P/HP/UP)



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 連結貸借対照表

科 目	第87期 2020年3月31日	第88期 2021年3月31日	科 目	第87期 2020年3月31日	第88期 2021年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	21,037	23,071	流動負債	9,236	10,320
現金及び預金	7,651	10,954	支払手形及び買掛金	2,141	1,921
受取手形及び売掛金	8,111	7,518	電子記録債務	4,164	4,542
電子記録債権	1,560	1,680	短期借入金	416	416
仕掛品	1,450	1,146	未払費用	1,436	1,689
原材料及び貯蔵品	2,196	1,711	前受金	167	832
その他	69	60	未払法人税等	467	632
貸倒引当金	△0	—	役員賞与引当金	56	69
固定資産	14,282	16,817	その他	386	215
有形固定資産	10,079	10,042	固定負債	3,578	4,048
建物及び構築物	3,767	3,537	長期未払金	92	71
機械装置及び運搬具	1,106	1,207	繰延税金負債	—	477
土地	5,006	5,006	再評価に係る繰延税金負債	1,477	1,477
その他	198	290	役員退職慰労引当金	17	17
無形固定資産	32	45	製品保証引当金	767	711
投資その他の資産	4,170	6,729	役員株式給付引当金	—	7
投資有価証券	2,957	5,298	退職給付に係る負債	1,157	1,118
長期貸付金	29	—	その他	65	166
退職給付に係る資産	736	1,313	負債合計	12,815	14,369
繰延税金資産	395	34	純資産の部		
その他	87	88	株主資本	17,882	19,009
貸倒引当金	△35	△5	資本金	2,658	2,658
			資本剰余金	2,616	2,616
			利益剰余金	12,612	13,798
			自己株式	△4	△64
			その他の包括利益累計額	4,621	6,510
			その他有価証券評価差額金	1,386	3,048
			土地再評価差額金	3,363	3,363
			退職給付に係る調整累計額	△128	98
			純資産合計	22,504	25,519
資産合計	35,319	39,889	負債純資産合計	35,319	39,889

■ 連結損益計算書

科 目	第87期	第88期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	23,744	24,648
売上原価	17,400	17,948
売上総利益	6,343	6,700
販売費及び一般管理費	4,266	4,411
営業利益	2,077	2,289
営業外収益	145	130
営業外費用	16	21
経常利益	2,206	2,397
特別利益	0	—
特別損失	149	8
税金等調整前当期純利益	2,057	2,389
法人税、住民税及び事業税	561	695
法人税等調整額	113	61
当期純利益	1,382	1,632
親会社株主に帰属する当期純利益	1,382	1,632

■ 連結包括利益計算書

科 目	第87期	第88期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
当期純利益	1,382	1,632
その他の包括利益	△643	1,888
包括利益	738	3,521

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第87期	第88期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,490	4,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△847	△445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588	△536
現金及び現金同等物の増減額	△2,926	3,313
現金及び現金同等物の期首残高	10,437	7,511
現金及び現金同等物の期末残高	7,511	10,824

■ 連結株主資本等変動計算書

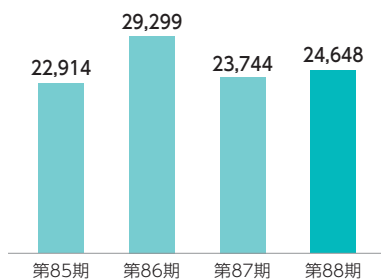
第88期 2020年4月1日から2021年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	12,612	△4	17,882	4,621	22,504
当期変動額							
剰余金の配当			△446		△446		△446
親会社株主に帰属する当期純利益			1,632		1,632		1,632
自己株式の取得				△59	△59		△59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,888	1,888
当期変動額合計	—	—	1,186	△59	1,126	1,888	3,015
当期末残高	2,658	2,616	13,798	△64	19,009	6,510	25,519

連結業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

科 目	第85期 2017年度	第86期 2018年度	第87期 2019年度	第88期 2020年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	22,914	29,299	23,744	24,648
経常利益 (百万円)	2,202	3,328	2,206	2,397
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,508	2,283	1,382	1,632
1株当たり当期純利益	99円56銭	150円71銭	91円23銭	107円98銭
総資産 (百万円)	38,686	39,129	35,319	39,889
純資産 (百万円)	21,514	22,334	22,504	25,519
1株当たり純資産額	1,420円12銭	1,474円24銭	1,485円48銭	1,690円50銭
自己資本比率 (%)	55.6	57.1	63.7	64.0

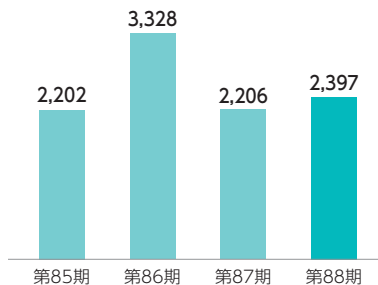
売上高

単位：百万円



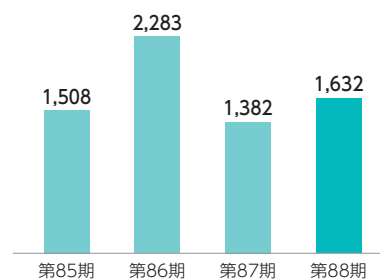
経常利益

単位：百万円



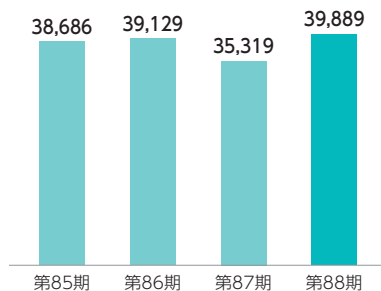
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



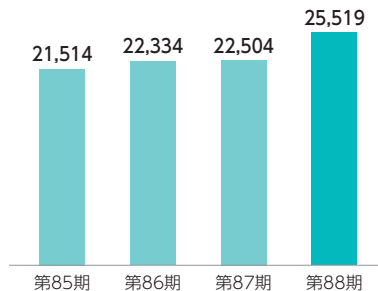
総資産

単位：百万円



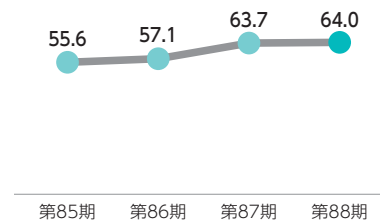
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第86期連結会計年度より適用しているため、それ以前の連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

会社概要・Corporate Profile

2021年3月31日現在

■ 会社の概況

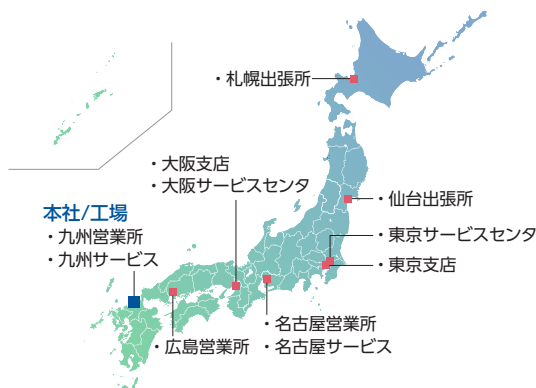
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	494名(連結548名)

■ 役員

2021年6月29日現在

取締役会長(代表取締役)	宮地 敬四郎
取締役社長(代表取締役)	税所 幸一
取締役	佐藤 徳生
取締役	後藤 俊哉
社外取締役	井上 信之
社外取締役	馬場 信哉
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,505名

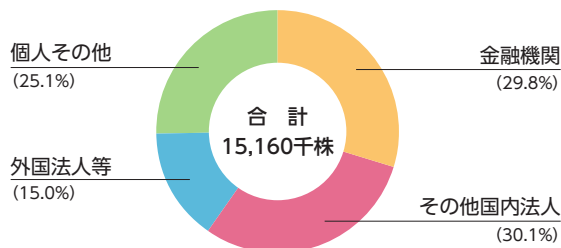
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,544	10.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,506	9.9
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	422	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,324株)を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の信託財産として信託が保有する当社株式53,800株は含まれておりません。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2020年10月16日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2020年10月9日現在同社が3,608,000株(保有割合23.80%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定しております。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。

当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。